

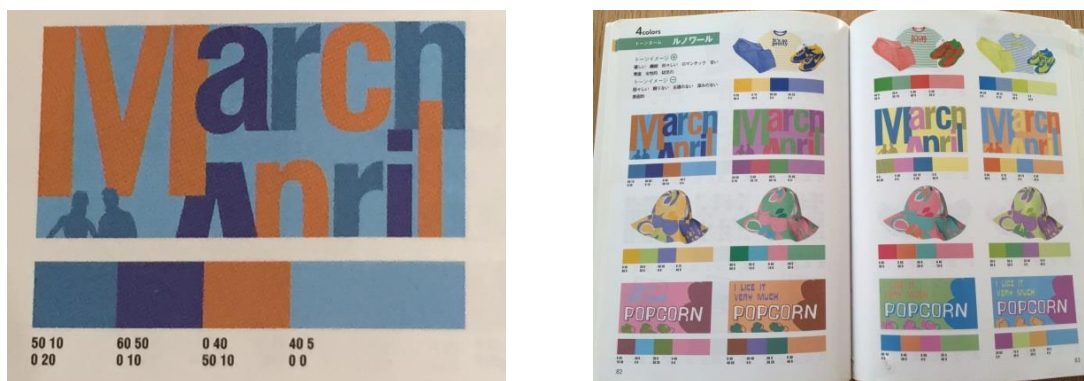
「百分率とタイルアート」

<背景>

百分率は割合の表し方の一つですが、そもそも子どもたちにとって割合というのが分かりにくいようです。それは、割合自身が具体的なものの数を表しているのではなく、ものや数の間の関係を表しているものだからでしょう。「倍」や「比」もこの仲間になります。

でもこの割合はとてもおもしろいもので、現実の世界ではものの性質を表したり伝えたりすることができます。お料理の時に全体の量を増やしたり減らしたりしても、材料や調味料の割合を変えずに作れば味は変わりません。これは芸術の世界でも使えそうです。今回は百分率を使ってタイルアートを作ってみましょう。

ルノワール風の配色（配色バイブル-視覚デザイン研究所-より）



<ねらい>

- ・百分率の使い方（小数に直して使う）を知る
- ・百分率は全体にしめる割合を表していることを知る
- ・割合はものの性質を表したり伝えたりできることを知る

<準備するもの>

- ・工作用紙をたて5マス、よこ10マスに切る（1マスは1cm×1cm）
- ・1cm×1cmに切った折り紙（むらさきがかった青色、こい水色、うすい水色、こいオレンジ色）

1枚

それぞれ計算

した枚数

- ・のり

<タイルの枚数を計算しよう>

デザインの本には有名な芸術家が好んで使った色の割合が書かれているものがあります。これを参考にして、フランスの画家のルノワール風にタイルアートを作ります。例えばむらさきがかった青色18%、こい水色18%、うすい水色46%、オレンジ色18%という割合で色を合わせるとルノワール風の色合いになると紹介されています。（数値はおおよその値です）

				合計
18%	18%	46%	18%	100%

—つづきは正式な指導手順書にて—